

令和7年度 鶴見区精神障害者生活支援センター収支決算書
(総括版)

自令和7年4月1日 至令和8年3月31日

(単位:円)

科目	予算額	決算額	決算額のうち 法人負担金額	差 額	備 考
Ⅰ 収入の部					
1 指定管理料収入(当初)	78,561,000	78,561,000		0	
2 指定管理料収入(変更)				0	
3 法人負担金	2,400,000	2,400,000		0	常勤化
4 相談支援事業に要した交通費収入		0		0	
5 自立支援給付費収入		7,602,164		▲ 7,602,164	
6 食事サービス収入		1,380,000		▲ 1,380,000	
7 入浴・洗濯・インターネットサービス収入	60,000	132,840		▲ 72,840	
8 その他の実費収入など(横浜市障害福祉施設 等物価高騰対策支援金等)		527,573		▲ 527,573	障害者雇用助成金・実習生謝礼金
収入合計	81,021,000	90,603,577		▲ 9,582,577	

Ⅱ 支出の部					
戻入精算	1 人件費	70,351,000	67,566,991	▲ 2,400,000	2,784,009
					法人負担により現金化
	非常勤職員	0	0	0	0
	アルバイト	4,800,000	2,993,042	0	1,806,958
	調理アルバイト	2,800,000	1,447,493		1,352,507
	嘱託医賃金	968,000	947,520	0	20,480
	法定福利費	8,443,000	7,487,600	0	955,400
	退職金給与引当金	2,050,000	2,228,750	0	▲ 178,750
	福利厚生費	96,000	80,000	0	16,000
	労務厚生費	204,000	299,366	0	▲ 95,366
	2 施設管理費	4,240,000	4,001,971	0	238,029
	光熱水費	1,800,000	1,472,834	0	327,166
	庁舎管理費	2,500,000	2,661,977	0	▲ 161,977
	利用者負担金充当金	▲ 60,000	▲ 132,840	0	72,840
	3 運営費	4,370,000	3,845,238	0	524,762
	旅費	800,000	621,025	0	178,975
	消耗品費	700,000	568,074	0	131,926
	印刷製本費	100,000	140,078	0	▲ 40,078
	修繕費	200,000	264,744	0	▲ 64,744
	通信運搬費	800,000	859,637	0	▲ 59,637
	賃借料	695,000	634,890	0	60,110
	備品等購入費	500,000	38,056	0	461,944
	保険料	175,000	177,488	0	▲ 2,488
	雑費	400,000	541,246	0	▲ 141,246
	4 本部繰入金	2,000,000	2,867,605	0	▲ 867,605
	5 食事サービス費の支出		1,449,652		▲ 1,449,652
	6 その他の実費からの支出				0
支出合計		80,961,000	79,731,457	▲ 2,400,000	1,229,543

Ⅲ 戻入の部					
人件費戻入精算分		2,784,009			
戻入合計		2,784,009			

令和 7 年度 事業報告

社会福祉法人 横浜市社会事業協会
横浜市鶴見区精神障害者生活支援センター

令和7年度事業報告書

【施設概要】

名 称：社会福祉法人横浜市社会事業協会 横浜市鶴見区精神障害者生活支援センター
所在地：〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町 28-4 ハーモニーとよおか 4 階
電 話：045-576-3173（一般相談回線）
045-576-3174（申込専用回線）
045-576-3170（自立生活アシスタント事業専用回線）
045-333-3171（横浜市退院サポート事業専用回線）
045-575-0551（事務専用、関係機関専用回線）
F A X：045-576-3172
E mail：tsurumi-s.c@ysjk.jp

I. 運営方針

法人理念である「夢と希望のもてる誰もが住みやすい社会との架け橋を築く」ということを意識し、精神障害者の権利擁護の視点を大切にしながら運営致しました。

令和6年度の法改正において、権利擁護の視点がより重要視される中、複数事業を担う生活支援センターの役割として、それぞれ権利擁護の意識を高め活動致しました。

令和7年度は、上記を意識した上で以下の取り組みを実施致しましたので、ご報告致します。

II. 相談支援機能の整理と強化

基本（委託）相談支援

基本相談支援事業については、精神障害のある方やそのご家族、地域住民、関係機関等からの相談に対し、安心して地域生活を継続できるよう、本人主体の視点を重視しながら丁寧な支援を実施しました。相談内容は、日常生活上の困りごと、福祉サービス利用、医療受診、人間関係、就労、住まい、経済的課題、緊急時対応など多岐にわたり、電話・来所・訪問・同行支援等、状況に応じた柔軟な方法で対応しました。

また、複合的な課題を抱える利用者に対しては、区役所、医療機関、相談支援事業所、地域ケアプラザ、就労支援機関、居住支援機関等と連携し、必要な社会資源につなげるとともに、継続的な見守り支援を行いました。

近年、精神的不調の長期化や孤立、家族支援の必要性が高まっていることから、早期相談・継続相談を意識し、利用者が孤立しない支援体制づくりに努めました。特に例年よりも新規相談の障害特性で分類すると比較的に発達障害を抱える方が多く、関係機関との連携は必要不可欠でした。

今後も、地域における身近な相談窓口として、誰もが安心して相談できる環境整備を進めるとともに、関係機関との連携強化を図り、地域生活の安定と自立支援に取り組んでいきます。

(I) 指定特定相談支援事業（計画相談支援）

「地域の相談支援事業所をサポートすること、単独相談支援事業所が受入れ困難なケースをセン

ターで積極的に受け入れること、安定したケースを引き継いでいくこと」を意識して運営いたしました。相談支援専門員の年度途中での休職、各事業兼務状況のセンター職員の中で計画相談支援との業務バランスは困難な状況でした。区役所とも協議し、契約者数を100名〜90名まで縮小しましたが、それでも委託事業とのバランスを図ることに難しさを感じています。しかしながら、鶴見区の現状では精神障害対応可能な相談支援事業所がまだまだ不足しており、当センターで引き受けなければならない部分も理解しており、ジレンマを抱える1年となりました。

今後に向けて、自立支援協議会相談部会の中で課題を共有し区域課題とし解決に向けて整理していきたいと考えています。

(2) 自立生活援助事業・自立生活アシスタント事業

今年度は新規登録者数を増やすこと、モニタリングシートを作成し支援の振り返りを登録者と実施していくことを重点的に取り組みました。また、普及啓発活動にも力を入れて取り組み、アウトリーチ会議の場をお借りし、普及啓発活動を実施致しました。担当内でも月1回ミーティングを行い、ケース共有や検討を実施。結果、自立生活アシスタント事業に関しては、年度初めに、卒業ケースが多くいましたが、新たに14名の方と新規契約を結びことができました。

今後は新規ケースの受け入れをどれだけスムーズにしていけるかが課題であると感じています。現在の登録数を維持しつつ、終結を検討しながらケースの循環をしていくことができるように取り組んでいきたいと考えています。

(3) 指定一般相談支援事業・退院サポート事業

区内精神科病院相談室より提案のあった、センター職員が病院へ訪問し、入院者と話をする機会を設ける企画書を作成。病院へ提出するが、まずは退院支援に取り組んでほしいと希望あり、今年度は退院支援に重点的に取り組むことになりました。次年度以降、協働活動について再度提案予定です。

川崎市にある精神科病院は鶴見区と隣接区にあるため、協働活動を提案。院内検討した結果、退院に関するプログラムの集まり(患者さんの反応)が悪い印象にあるとのことで保留となりました。

3つの精神科病院へ退サポ事業の目標件数を共有し、新規の依頼があれば相談いただきたいことを伝えるために訪問をし連携強化に努めました。また、鶴見区役所障害支援課へも退サポ事業の目標件数を共有し、新規の依頼に関して声かけを行いました。障害支援課より提案のあった、生活支援課への退サポ事業説明について、次年度以降実施予定です。

多職種連携による包括的支援に加え、事業の魅力でもある、退院の動機付けへの支援、入院早期からの退院支援事業の介入が必要と考えます。そのためにも、普及啓発による取り組みを活発化し、協働活動実施に繋げていく必要があります。次年度は協働活動を具体的に実施します。次年度5月までに、生活支援課との協働活動に関する企画書を作成し、障害支援課へ提出していく予定です。

III. 他機関連携・地域支援体制整備への取り組み

3機関連携が当然ながら、継続しているケアプラザとの連携についても、新規開拓を行いました。結果として、新たなケアプラザにおいて障害理解講座を実施することができました。また、福祉業界だけではなく継続している教育機関との協働活動も継続しインクルーシブ教育を意識した活動を実施しました。結果、多くの子供た

ちとセンター登録者が交流できる貴重な機会を設けることができ双方のとても良い笑顔をみることができました。

IV. 精神保健福祉に関する普及啓発活動・当事者との協働

恒例行事である自治会との合同夏祭り「ハーモニーとよおか祭り」や四季折々のイベント、自立支援協議会障害者週間イベントにおけるボッチャ大会や障害理解講座など、様々な形で定期的に普及啓発活動に努めました。多くの方が参加し、SNS 等も活用し少しでも精神障害の理解が深まるよう工夫を致しました。また、普及啓発活動においては、当事者参加を常に意識しました。結果、障害の有無関係なく、共に活動しながら学べる機会を提供することができました。

V. 専門職としての資質向上

内外の研修に積極的に参加をし、毎月1名の職員が伝達講習を行う形をシステム化しました。結果、職員一人一人のプレゼン能力の向上、研修内容の浸透性の向上に繋がりました。また、実習指導に力を入れることで、教える側になることによる専門職自身の振り返りの機会を構築しました。5 名の実習指導者が、2 名以上の学生を担当し、指導者以外の職員もアウトリーチ活動に学生を同行させるなど、全体で実習指導に取り組みました。

上記に加えて、法人内で契約したオンライン研修システムも活用し個々人の資質向上に努めました。

VI. その他

(1) 家族支援

毎月定例の家族会定例会に継続して参加。また、家族会主催の懇談会にて区内の精神保健福祉に関する講義や情報提供を行いました。引き続きセンターにて「家族による家族のための相談会」は実施していますが、利用率が低く周知方法等に関して課題に感じています。

(2) ピアスタッフの導入

昨年度に引き続き、継続して活動できています。ピア連絡会、ピア座談会にも参加し、法人内のグループホームにおいてもピア活動を行うなど、担当業務の拡大を行いました。また、鶴見区事例検討会「うみやま会」において、ピア活動の実践報告を行いました。結果として、令和8年度に開催される日本デイケア学会においても登壇依頼があり、シンポジストとしてピアサポートに関するテーマで発表予定です。

個別のケースも複数名担当し、相談員とピアスタッフの連携による支援を継続しています。

VII. 令和7年度 運営実績報告

令和7年度は、年度途中に食事提供日数の縮小(週4日～週3日)ということもあり、来館者数の現状がありました。このことより、来館者の目的の1つは大きく食事サービスの部分であることがわかりましたが、その実情はアンケート結果から「自炊できるが作るのが面倒」という方の利用率が最も高いことが判明しました。支援する上でご本人の残存能力の維持も重要な視点の一つです。また、来所困難な方々の食の確保は個別で行うなど、食事サービスの在り方自体を見直していく必要性を感じた1年でもありました。実績値においても、計画相談でもアウトリーチすることが多く、その部分の繁栄をどうするか次年度以降の課題と感じまし

(1) 登録者数及び来館者数 開所日数:317日

登録者数	令和7年度登録	男性	39	名	全体	74	名
		女性	35	名			
	全登録者数	男性	772	名	全体	1456	名
		女性	680	名			
来館者数	本人	男性	4297	名	全体	6537	名
		女性	2240	名			
	家族		266	名	全体	434	名
	ボランティア・その他関係機関等		168	名			
	全 体 合 計	7015					名

(2) 各種サービス利用状況

項 目		延べ人数	全体延べ人数
食事	男性	1821人	2805人
	女性	984人	
入浴	男性	828人	987人
	女性	159人	
洗濯	男性	296人	303人
	女性	7人	
インター ネット	男性	3人	3人
	女性	0人	

(3) 援助方法

電話	男性	1772	件	全体	3835	件
	女性	2063	件			
面接	男性	284	件	全体	600	件
	女性	316	件			
フリースペース対応	男性	245	件	全体	453	件
	女性	208	件			
訪問・同行	男性	112	件	全体	239	件

	女性	127	件			
--	----	-----	---	--	--	--

(4)相談支援内容内訳

生活 （衣食住）	男性	2051	件	全体	4761	件
	女性	2710	件			
精神的不安・混乱	男性	234	件	全体	706	件
	女性	472	件			
家族関係	男性	234	件	全体	563	件
	女性	329	件			
対人関係	男性	198	件	全体	524	件
	女性	326	件			
金銭管理・経済	男性	324	件	全体	805	件
	女性	481	件			
就労	男性	444	件	全体	992	件
	女性	548	件			
制度・サービス	男性	637	件	全体	1891	件
	女性	1254	件			
センター利用案内	男性	97	件	全体	202	件
	女性	105	件			
日中活動 （余暇含む）	男性	367	件	全体	706	件
	女性	339	件			
医療・健康	男性	580	件	全体	1300	件
	女性	720	件			
入院・退院支援	男性	27	件	全体	46	件
	女性	19	件			
その他	男性	271	件	全体	509	件
	女性	238	件			
複数対応	35					回
ケア会議	130					回
緊急対応	7					回

(4) 小学校との交流事業

区内小学校特別支援学級の生徒さん・先生方と季節の行事を協働で行ったり、ご利用者と小学校内菜園の採集に行くなど交流を深めました。特に夏祭りでは、生徒さんご利用者が共同して出店するなど貴重な時間を共有することができました。

夏祭り・クリスマス会等季節行事	参加者延べ72名
-----------------	----------

(5) 実習受け入れ

精神保健福祉士実習のみならず、公認心理士、看護師の実習も受け入れました。

実習生受け入れ人数：25名	受け入れ期間：計138日間
---------------	---------------

(7) 嘱託医相談

本人	3人
全体	3人

(8) プログラム・交流機会の提供(延べ回数 63 回 述べ参加人数 961 名)

名称	回数	人数
ピアミーティング	11	67
茶話会	2	39
カワサキ水族館に行こう	1	5
ヨガクラス	10	45
朝食プロジェクト～おにぎり・とん汁編～	1	7
節分イベント	1	7
将棋イベント	1	7
ワークショップイベント	6	30
クリスマス会(小学生との交流事業)	1	48
大掃除イベント	1	8
ポッチャイベント	2	16
サッカー観戦イベント	1	9
ソフトボールイベント	1	11
初詣イベント	1	6
お月見イベント	1	6
卓球イベント	2	24

手話イベント	2	19
新年会	1	18
鶴見神社・総持寺仏閣散策	1	11
リッツパーティー	1	6
編み物イベント	1	8
納涼祭	1	19
七夕イベント	1	9
ボウリング大会	1	6
オセロ・将棋大会	1	12
餃子を作ろう!	1	11
ピアサポート説明会	1	7
ホワイトデーイベント	1	8
美文字イベント	1	3

(9) 自立生活援助事業・自立生活アシスタント事業

登録者概要	登録者数	令和7年3月末時点	28	障害程度 別人数	精神1級	精神2 級	精神3 級	精神手帳 なし
		令和7年度新規登録	14	A1	0	0	0	0
		令和7年度登録抹消	1	A2	0	0	0	0
		令和8年4月1日現在	27	B1	0		0	0
		未登録相談人数	7	B2	0		0	1
		他アソ事業所協力人数	3	愛の手帳なし	4	15	6	2
	生活 状況	①単身	②障害者 のみ	③同居家族 の高齢化	④その他 家族と同居	⑤単身生活 移行希望	⑥その他	その他の内容
		20		8				
	日中活 動場所	①就労	②通所	③デイケア	④在宅	⑤その他	その他の内容	
		6	5	3	14			

(10) 地域相談支援事業・横浜市退院サポート事業

①地域移行支援・横浜市退院サポート事業

支援対象者数	19名
退院サポート事業利用者	18名
地域移行支援事業利用者	1名(退院サポート事業利用者1名含む)
退院者数	4名(内 地域移行支援事業0名)
支援継続	14名(内 地域移行支援事業利用者1名含む)
退院後フォロー	2名
支援終了	名
支援中止	1名

②地域定着支援

支援対象者数	0名
支援継続	0名
支援終了	0名

(11)計画相談支援事業

契約者総数88名	年間請求件数458件
----------	------------